

オムロン ヘルスケア株式会社
健康経営®・禁煙推進の取り組み

2025年7月11日

本日の内容

- 1.会社概要
- 2.健康経営宣言
- 3.健康経営方針・重点テーマ
- 4.重点取組み Boost5とオムロンゼロイベントチャレンジ
- 5.禁煙推進について

Our Mission

ミッション

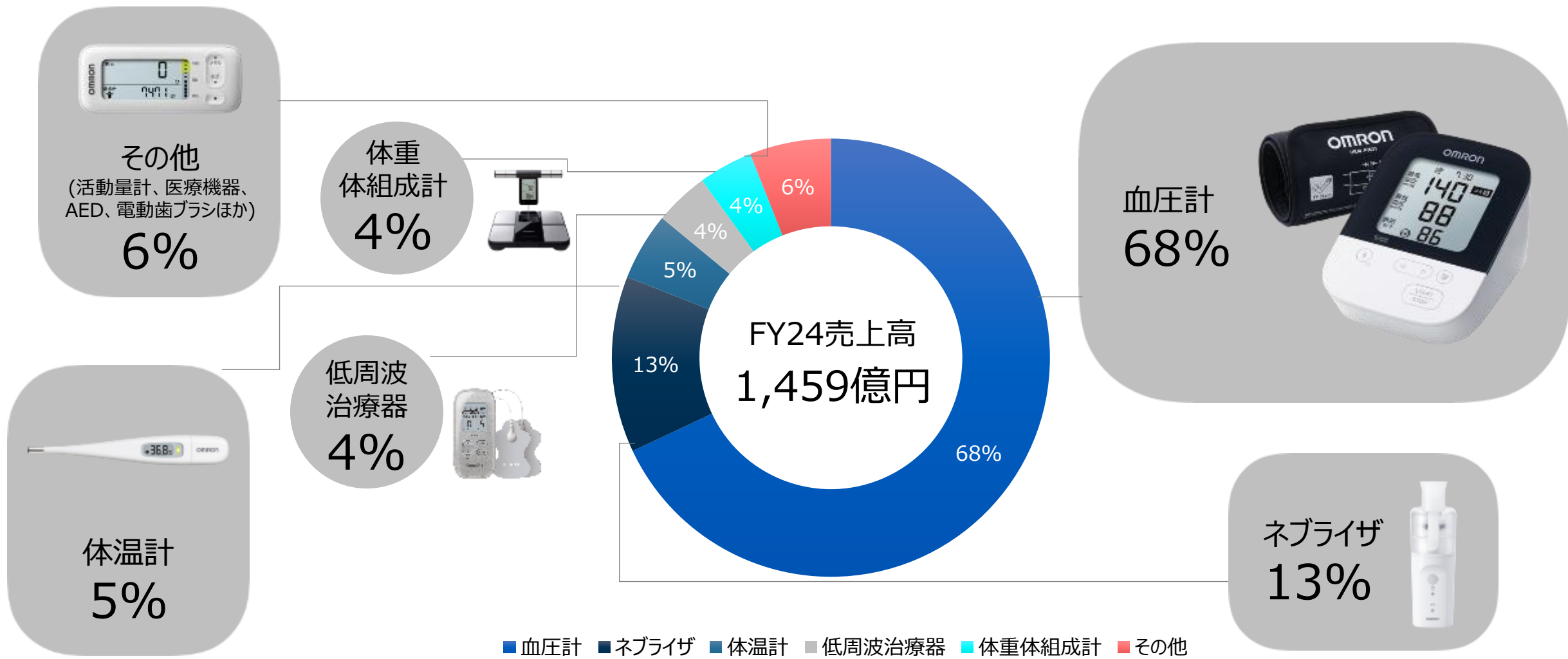
地球上の一人ひとりの 健康ですこやかな生活への貢献

「健康でありたい」という、
いつの時代も変わることのない世界共通の願い。
わたしたちは、今もこれからも、
一人ひとりが健康ですこやかに生活できる社会を
切り拓いていきます。

オムロン ヘルスケア概要

設立年月日	2003年7月1日（オムロン株式会社より分社）
本社所在地	京都府向日市
資本金	50億円
売上高	1,459億円（2025年3月期連結）
従業員数（グループ計）	3,770人（2025年3月末現在）
研究開発拠点	2拠点（日本：京都府、中国：大連市）
生産拠点	5拠点（日本：三重県、中国：大連市、ベトナム：ビンズン省、ブラジル：サンパウロ、イタリア：Lonato Del Garda）
国内営業拠点	1拠点（東京）
海外営業拠点（法人）	19拠点（米国、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、オランダ、ドイツ、フランス、イギリス、ロシア、シンガポール、インド、バングラデシュ、タイ、インドネシア、マレーシア、中国（上海、北京）、台湾、韓国）

カテゴリ別売上高構成比率



Our Vision

Going for ZERO

予防医療で世界を健康に

「病気を早期に発見する」、「重症化を防ぐ」、「再発を防ぐ」。

私たちは、今まで培ってきたセンシング技術と

医療分野での知見を活用し、世界の死亡原因の上位を占める

循環器と呼吸器疾患、

日常生活に大きな影響を与える痛みの3分野で、

新しい予防医療を作り上げます。



オムロン ヘルスケア健康経営の目的

従業員の健康から社会の健康へ

オムロングループでは、企業理念の実践を通じて社会的課題の解決を目指しており、そのためには、経営の基盤となる従業員一人ひとりの健康が重要だと考えています。

オムロンヘルスケアでは「Going for ZERO～予防医療で世界を健康に」を長期ビジョンとして掲げています。従業員一人ひとりが健康経営の取り組みに積極的に参画して自らビジョンを体現し、それを社会に示していくことで、健康寿命の延伸、予防医療の実践という健康文化の創造を実現していきます。

オムロン ヘルスケア株式会社

代表取締役社長

岡田 歩

健康経営優良法人ホワイト500 9年連続認定



オムロン ヘルスケア健康経営方針

私たちは、心身ともに健康で、好奇心に満ち溢れ、ワーク・ライフ・バランスのとれた毎日の中で失敗を恐れず元気にチャレンジし続け、お客様が笑顔になる商品やサービスを創造します。

	重点課題		
	ゼロイベントの実現	フィジカル	メンタルヘルス
二次予防 ：重症化予防	血圧適正化	健康リスク者の減少	高ストレスの改善
一次予防 ：健康増進	血圧測定 の習慣化	健康増進行動の 実践	いきいき職場の 実現

オムロン ヘルスケアの健康経営施策の柱

＜オムロングループ全体の取り組み＞

Boost5：健康づくり応援指標



＜オムロン ヘルスケア独自の取り組み＞

オムロンゼロイベントチャレンジ



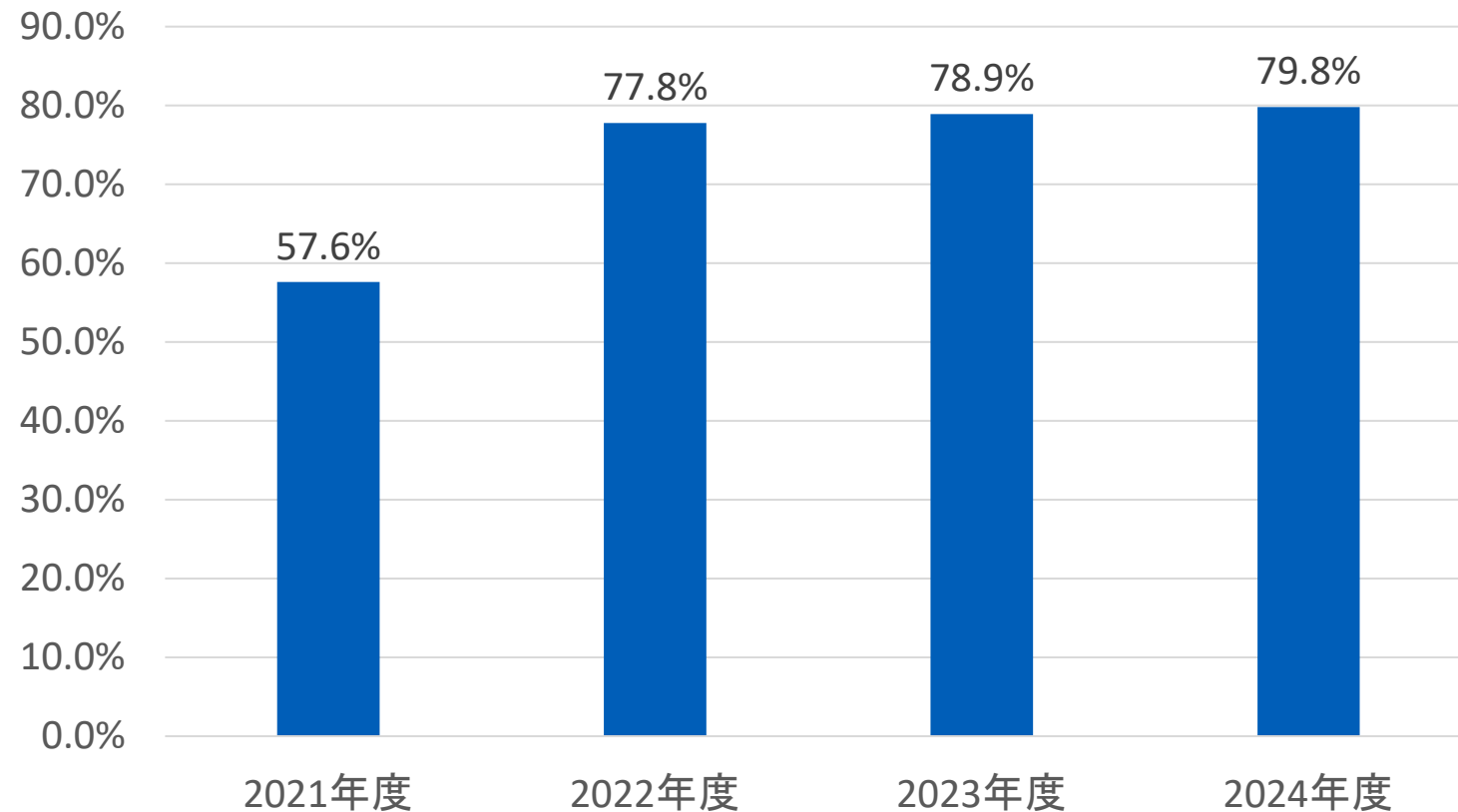
ゼロイベント実現（高血圧による脳血管・心疾患ゼロ）はまず社員から！

- ・健康状態の見える化（血圧・歩数・体重）
- ・家庭血圧の測定、適正化
- ・行動変容の実行

オムロングループ全体の取り組み「Boost5について」

オムロン ヘルスケアのBoost5 3項目以上達成者率は毎年改善

Boost5 3項目以上達成者率



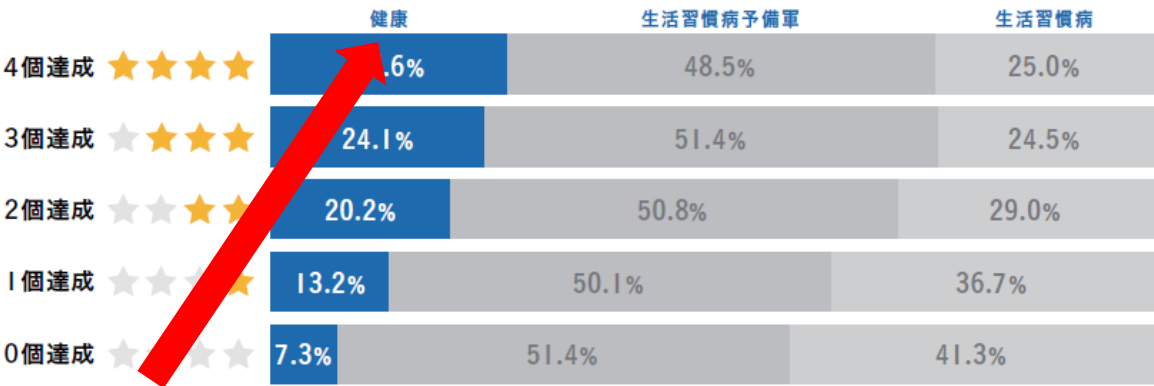
Boost5と健康状態・パフォーマンスとの関係

健康状態の評価とともに、経営上の視点での評価も併せて実施し、社外公開を行っている。

① Boost5達成項目と健康状態の関係

3個以上の達成を目指して、
達成項目が多いほど
良好な健康状態だとわかる

※メンタルヘルスを除く4項目でアンケートを実施



〈健診およびBoost5アンケート結果より〉

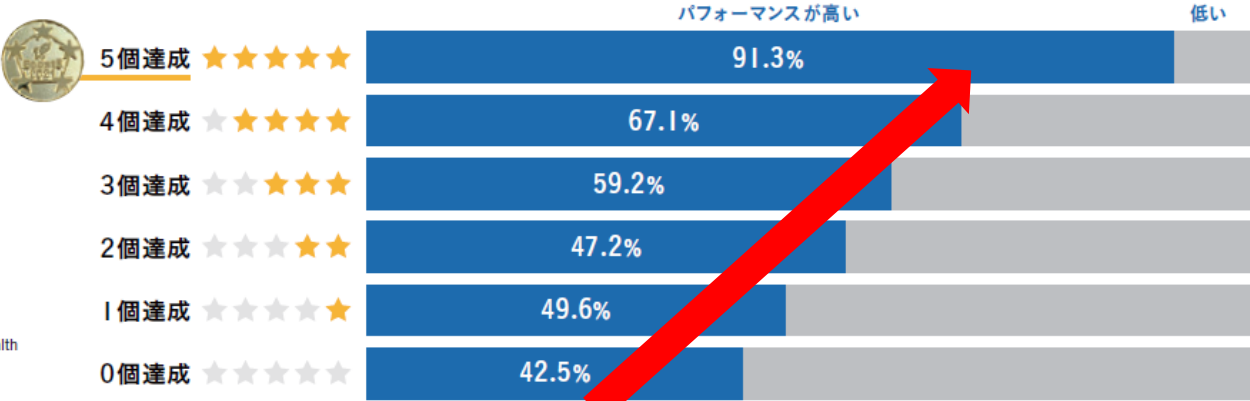


② Boost5達成状況とパフォーマンスの関係

達成項目数が多いほど、
パフォーマンスが高い

Boost5全項目達成者には
「Boost5マイスター」として表彰し、
5つ星のピンバッジを贈呈

※パフォーマンスの測定は、WHO-HPQ (World Health Organization Health and Work Performance Questionnaire) による



〈Boost5アンケート結果より〉

オムロン ヘルスケア独自の取り組み ～オムロンゼロイベントチャレンジ～

オムロン ヘルスケア全社員が高血圧に起因する脳・心血管疾患(イベント)の発症ゼロを目指した活動です

入社時研修で健康経営取り組み説明



血圧計



活動量計



測定の見える化



自律的な
行動変容へ

血圧計と歩数計を配布し、アプリ連携

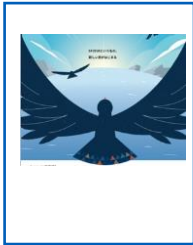


社員全員で取り組むために大切にしてきたこと



下記4つの効果的な取組みを体系化。2021年度からは自律・主体的参加を目指し、楽しく飽きずに取り組める企画を実行、「測定・行動変容の習慣化」に取り組んでいる。

企業理念に基づいた メッセージ発信



事業ミッション
との連動



トップ
メッセージ

環境づくり



測定推進
イベント



毎月1日は
血圧測定の日



測定
ステーション



のぼり



コピー機前やトイレ内に
ポスター表示

組織としての 働きかけ



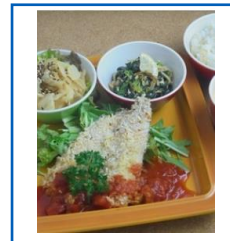
アンバサダとの
方針共有



健康経営
座談会

きっかけづくり・行動変容支援

<楽しく美味しく習慣づくり>



ヘルシーメニュー



オムゼロウォーク



セルフケア
教育



各種セミナー



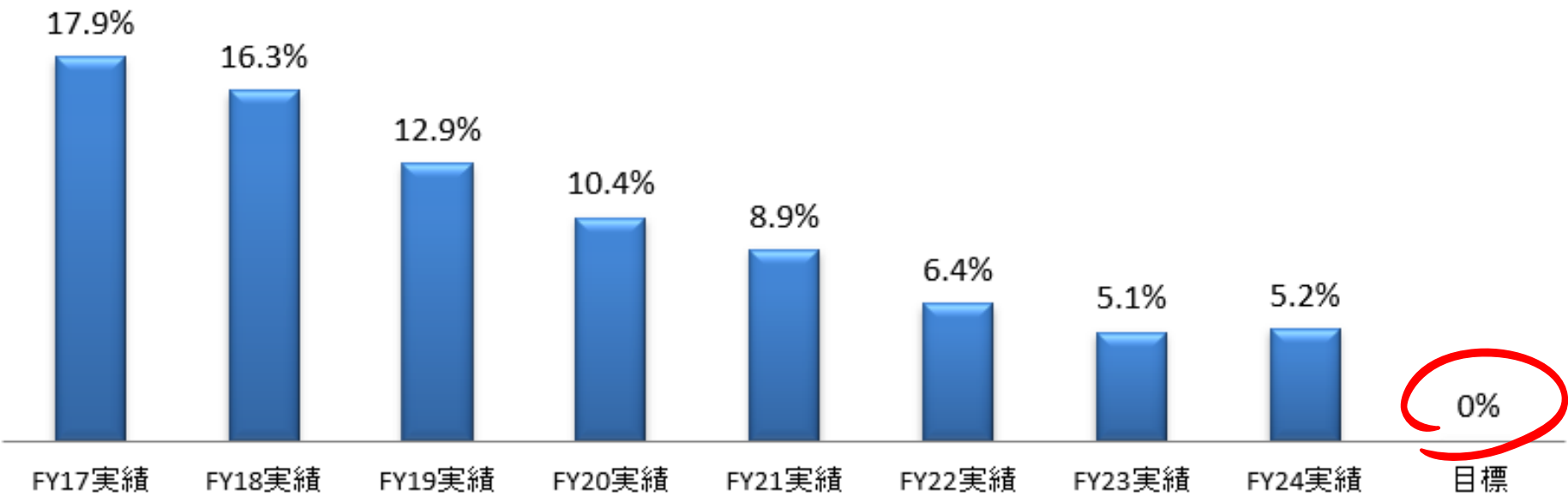
カラダ改造チャレンジ



卒煙チャレンジ

<本気プログラム>

喫煙率の推移



禁煙推進取り組み

【3本柱】

環境づくり

- ・就業時間内禁煙
- ・敷地内禁煙
- ・喫煙所閉鎖 など

啓発・教育

- ・産業医講話
- ・セミナー
- ・E-learning など

支援・治療

- ・禁煙費用補助
- ・禁煙外来支援
- ・禁煙成功手当 など

推進体制

- ・経営トップが禁煙を推進したい意志
- ・経営トップの禁煙に関する宣言
- ・会社の目標設定（喫煙率など）
- ・禁煙推進を担う部署や担当者 など

出典：Kenko企業会禁煙分科会成果物

具体的な取り組み ■ 推進体制

禁煙推進企業コンソーシアム加盟



概要

発起人	公益社団法人 東京都医師会 公益財団法人 日本対がん協会
後援	東京都
発足日	2019年4月18日
参加企業	32社（企業および団体）

喫煙所の撤廃・受動喫煙防止

- ・営業所屋内喫煙所の廃止（2008年～）
- ・本社敷地内禁煙（2011年～）
- ・禁煙時間の導入（2017年～）
- ・敷地内喫煙所の廃止（2018年～）
- ・敷地内、休憩時間を含む
就業時間内禁煙（2019年4月～）
- ・上記就業規則化（2019年10月～）

トップメッセージ発信

2019年 社内報

1. 社長メッセージ

代表取締役社長 萩野 勲・

《就業時間内禁煙について》

先ずは4月、5月、皆さんの努力により良い結果をあげることができたことを心から感謝します。米中関係など今後も様々な変化が続いていと思いますが、レガリと予測、準備を一切に乗り越えていきましょう。、
 といつて今月は、実際に五輪を乗り越えていって上大切な健康、健康経営について書きたいと思えます。みなさん十分わかっていると思いますが、今の戦局が良く、戦術が良かたとしても、それを実行する。
 我々自身の心と体が元気でなければそれを実現することはできません。その元気をつくるために、我々は働き方改革、オムレチプロジェクトなどを推進してきました。

[illegible]

2025年 世界禁煙デー 社長メッセージ

5月31日 世界禁煙デー 社長メッセージ

「Going for ZERO 予防医療で世界を健康に」

の実現に向けて、まず私たち自身が健康であることが大切です。

OHQの喫煙率は減少傾向ですが、
まだ「喫煙ゼロ」は実現できていません。

卒煙は、自身だけでなく大切な家族や周りの人の健康も守ります。

この日を契機に卒煙に向けた行動を起こしましょう。

代表取締役社長

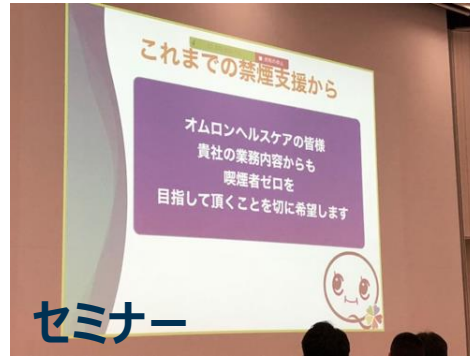
これから卒煙を目指す皆さんを応援します！！

岡田 歩

具体的な取り組み ■ 啓発・教育

セミナー・社内啓発

- ・卒煙セミナー実施



- ・社内 掲示やフラッグ

[illegible]

社内啓発

具体的な取り組み ■ 啓発・教育

小学校 喫煙に関する出前授業実施

2025年1月



出前授業アンケート 抜粋

タバコは本当に寿命を縮めるというのにびっくりしました。1ヶ月吸ったから150分も縮まる...市いばいと思いました。私の父も昔吸っていましたが、私達の事を考えてやめてくれました。自分の体を悪くすると、周りも悪くしてしまうというのがよく分かりました。自分の体を大切に、体の状態をよく保とうと思いました。
オムロンさんが作っている体温計、見たことがありました！ホムの家でも使っているかもです。
この授業で、タバコを吸っちゃダメだとよく分かりました。また話聞きたいです(中学校で!)タバコを吸ってよい大人にはなろうと思いました。

〇たばこについて、写真やイラストを使って説明してくれて、とても分かりやすかったです。
〇将来、タバコを吸う大人になりたいと思いました。
〇たばこを吸っている、ニコチン、タール、酸化炭素などの有害物質についてあまり知らなかったのでもっと勉強になりました。
〇お父さんがたばこを吸っているのでもっとこの授業が学んだことをお父さんに伝えようと思いました。

昔はかきりかたはたばこ吸いたしと思っただけで今思えばたばこは吸わないでおこうと思いました。たばこを吸っていると自分だけでなく周りの人や大切な人を傷つけてしまうかもしれない大切な人生も減ってしまうと思いました。

タバコの怖さについて知れた。
タバコのせいでかかる病気などのことにくわしくなった。
親せきに吸っている人がいるので、やめさせたいなと思った。
私自身はタバコを吸わないつもりだったが、もっと吸わない気持ちが強くなった。
タバコはしゃみ、くしゃみをけすったり、周りの人の方が害が大きいこと知れた。

具体的な取り組み ■ 支援・治療

チーム制卒煙チャレンジ

2019年7月～チーム制卒煙チャレンジをスタート



医療職のサポート



卒煙表彰

ENTRY
01

脱・苦痛 withT

GOAL!

[7/1] START > [8/1] 通過 > [9/1] 通過 > [9/30] GOAL

ロケ

会社名

Challenger

Challenger

Supporter

文

戦

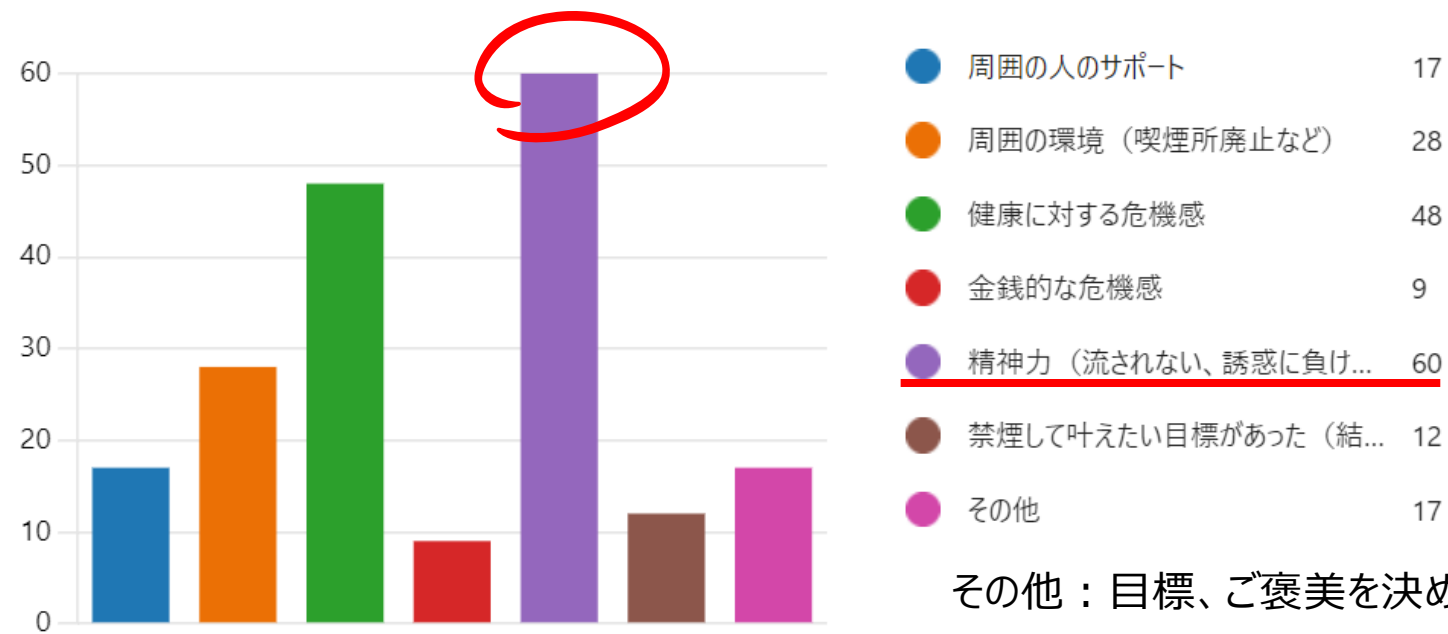
一言コメント

就業時間内の全社禁煙化の方針とこの支援の機会がなければ、一生禁煙はできていなかったと思います。食わず嫌い同様、やってみて気づいたことも多々あるので、インフルエンサーとして今後も喫煙者を巻き込んでいきます！

禁煙成功者からのエール

禁煙成功者対象のアンケートを実施。自らの卒煙体験の共有、これから卒煙にチャレンジする同僚へのエールを募集

禁煙に成功するために重要なことは何だと思いますか？（複数回答可）



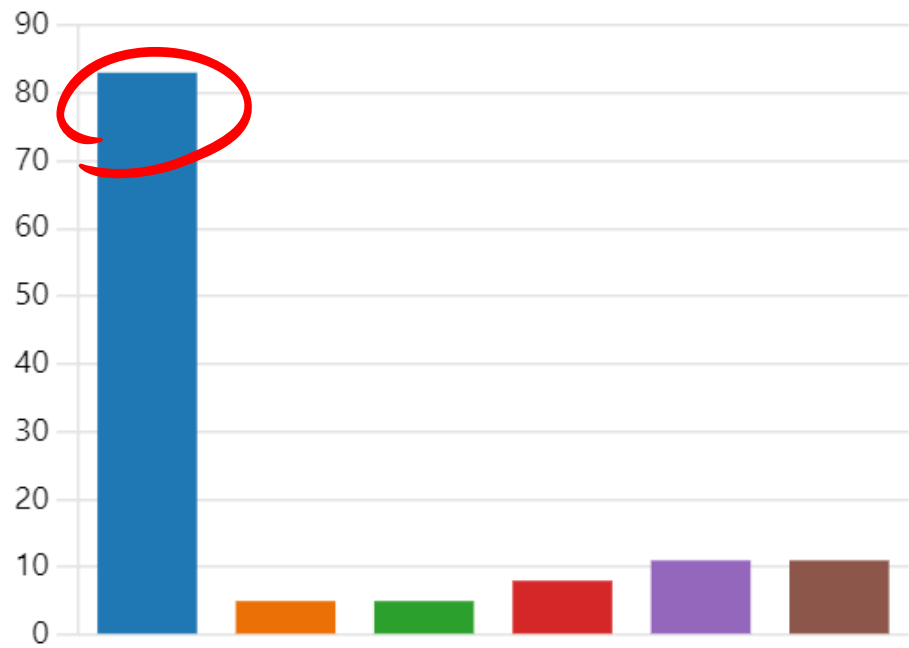
その他：目標、ご褒美を決める。

吸う時間、場所、吸いたくなるときの気持ちなど、習慣の自覚をすること。

美味しくないと思い込むこと。意識しないこと。

禁煙成功者からのエール

どのような禁煙手法を行いましたか？（複数回答可） ※禁煙を何度かしている場合は、あてはまるものをすべてお答えください。



● 自力	83
● 禁煙パッチ	5
● 禁煙ガム	5
● 禁煙飲み薬	8
● 禁煙外来受診	11
● その他	11

その他：アメをなめる。禁煙セラピーという本を読んだ
吸いなくなったらフリスクを食べる

具体的な取り組み ■ 支援・治療

禁煙成功者からのエール

卒煙を目指す皆さんへの応援メッセージ

- ヘビーな煙草をひと箱/一日吸っていましたが、結構やめられるもんです。体調良くなりますよ。
- たばこは「やめる」と思った瞬間からきっぱりと「やめる」ことが自分のこつです。頑張ってください
- タバコにかけていた費用は趣味や美容など自分への投資におきかえることができるので一石二鳥です！
- 辛いけど、乗り越えた時には、もう二度と吸いたくなくなります。がんばってください。
- 喫煙の規制が強くなった今が喫煙をやめるチャンスです。
- 卒煙すると煙草に束縛され自由を奪われていたことがわかります（喫煙中はわからない）。卒煙して自由な人生を取り戻しましょう！
- タバコなしでは生きて行かれないと思っている方。そんなことはないですよ。お金は貯まるし咳き込まなくなるし時間が湧き出てきていろいろなことがスムーズに出来るようになりますよ。空を跳んでみなさいと言うわけではないのでタバコがなくなっても何も怖くは無いですよ。ちょこっと我慢するだけで新しい世界が見えてきます。

これまでコンソーシアムで意見交換をした中での質問

■吸っているよというタレコミはない？

吸っているのを目撃したという報告はないものの、特定人物がタバコの臭いがするという情報提供はあったり、構内にタバコの吸い殻が落ちていることがあった。

■就業規則化の制度に関しての見守りはどうしているか？

積極的モニタリングまではしていないが、繰り返しお伝えしている。

■反発・挫折したことは？

マナー違反。事業所周辺の住宅街の中でタバコを吸う、敷地外に出てタバコを吸い殻をすてる。
特に構内請負社員は人員の入れ替わりも多く、ルール徹底がうまくいっていないこともあった。

➡ルールやマナー遵守の再周知とともに、可能な限り特定し個別注意。

■非喫煙者にどのように関心を持ってもらうか

事業所内のどこかに掲示やサインージ展開やメール配信等、禁煙について何かしら目に触れる機会を設け続けている。

ご清聴ありがとうございました